

子ども映画教室主催「映画と教育」シンポジウム～上映会&シンポジウム～「子どもが映画と出会うとき」

2015年1月17日と18日に、任意団体子ども映画教室が主催する「子どもが映画と出会うとき」と題する上映会およびシンポジウムが開催され、全国映画教育協議会は実施・運営にあたって協力しました。

このイベントは「映画と教育」をテーマとしており、子ども映画教室が近年精力的に行っている同名のワークショップで制作された作品の上映と、その活動内容をめぐるシンポジウムで構成されており、初日の17日には、共催である日本映画大学の新百合ヶ丘キャンパス4階大教室において、「子ども映画教室2014年総集編!!!」として作品上映が行われました。また、上映終了後は、来場者も交えたワークショップを行い、全体の交流を深めました。



2日目の18日は、同じく共催の川崎市アートセンターのアルテリオ小劇場にて、「映画と教育について考える」と題したシンポジウムを開催しました。実際に学校教育の現場で映像制作を行った事例や、映像教育の意義、子ども映画教室ワークショップを指導した映画関係者による事例報告、そしてワークショップの観点からこの活動について考える講演と、映画関係者と教育関係者を交えた充実のラインナップとなり、100名を越える多くの来場者で会場は熱気に包まれました。普段から多角的なアプローチで映画教育に取り組む当事者たちから率直な意見が多く挙がり、フロアからの質疑応答でも盛り上がりを見せました。最後はパネルディスカッションで、この日のプログラムを総括し、2日間にわたる盛りだくさんのプログラムは盛況のうちに幕を下ろしました。

